

■ 基本方針

文武両道の実践を軸に心身を鍛練し、高い知性と教養、たくましい身体と精神力、人を思いやる豊かな感性をあわせ持つ生徒を育成する。

【生徒】

平日 4 時間学習・2 時間練習（4－2 体制）を目標に、効率的かつ実戦的な練習に取り組み、学習時間の確保と戦績向上の両立を目指す。

【教員】

エビデンスに基づいた科学的かつ効率的なトレーニングの研究と ICT の活用により、練習時間の短縮と自身のワーク・ライフ・バランスの安定を図る。

■ 適切な部活動運営のための体制整備

- ・各部顧問が年間の活動計画および毎月の活動計画を作成し、管理職に報告
- ・年間計画・月間計画については保護者に周知
- ・部活動顧問の複数配置と外部指導者の活用によるワークシェアリング
- ・管理職等による定期的な活動視察と指導・助言
- ・事故の未然防止のための施設設備の点検と、緊急時の連絡体制の徹底

■ 4－2 体制の実現に向けた合理的かつ効果的な活動の推進

- ・SSH と連動した、科学的根拠に基づいた合理的な練習方法の研究と実践
- ・アクティブ・ラーニングによる内的動機付けの強化と、自主的・自律的な部活動運営
- ・生徒のタイムマネジメント力育成による練習効率の向上と下校時間の徹底
- ・トレーナーセミナー等によるケガを防ぐための体作りと自己管理意識の醸成
- ・活動が生徒の過重負担となっていると判断した場合は管理職による顧問面談を実施

■ 適切な休養日の設定

- ・毎週月曜日は「きずなの日」と連動して原則部休日とし、体を休めると共に学習や生徒・教師のふれあいの時間とする。
- ・土曜日の午前中は「サタデーサプリ」と連動して原則部活動を実施せず、学習時間の確保に当てる。
- ・週末の対外試合等の状況により平日の部休日を増やす等、生徒・顧問が適切な休養が取れるよう工夫する。
- ・定期考査 1 週間前および定期考査中は学業優先とする。
- ・オン・シーズンとオフ・シーズンの活動にメリハリをつけ、生徒のモチベーションと心身の健康の維持に努める。